No.３１４８

中央線、富士山見ながら
高　柄　山

実施日　２０２４年2月２４日（土）
天　候　晴れ
リーダー　瀧澤　きよの
参加者　小名秀鋭、瀧澤きよの、峯川弘子、村上智子　計4名
費　用　７４８円（JR高尾起算）
タイム　四方津(8:33)分岐(9:30~42)駐車場(10:00)千足峠(11:00)高柄山(11:35)新矢野根峠(13:30~13:35)御前山分岐(15:03)登山口(16:02)ムクノ木(16:03~15)島田小学校(16:30)上野原駅(17:00)

四方津駅から線路くぐり、雪化粧の高尾方向の千足集落へ向かう。
右方向集落の梅の香りに誘われて、おじさんに挨拶すると、「良く間違うんだが、下の分岐左だよ」慌て下り、沢を見ながら、駐車場に到着。

一台駐車あり。身支度整え、登山口から渡渉3回程急登の九十九折を登りと、樹氷、沢は真白(やったー！)この感激は急登にはへの河童。駐車のご夫婦とスライドで、アイゼン要らないです。の会話をして急登を行くも、樹氷がボタボタおまけに倒木が、登山道をふさぎ（最近の雪の災害？）を踏み越えわっせ、わっせで千足峠。

急登を登り上げて、真白な高柄山山頂。貸し切りかと思ったら、秋山方面から単独者現れ写真取ってお昼ごきん。

素晴らしい景色です。高尾山から陣馬山、百蔵山、扇山、道志山塊、丹沢の雪化粧今日のご褒美です。

アイゼン装着し新矢野根峠迄は、アップダウン、倒木、檜の枝が登山道ふさぎ、トラロープあるが、路肩狭くアイゼンが良い仕事をしてくれます。南面なので、雪はありませんが落ち葉が滑るもアイゼン歩行で、安心です。
東屋のある新矢野根峠から御前山分岐は一旦下り、登山道狭し、トラロープありも苔が生えて、怖い。
一路急登を分岐、御前山分道標あり。（ヤマレコ記録40分岩登攀その後激懸垂降）皆で話し鶴鉱泉方面へ下る。
高柄山登山口標識のある舗装道路でアイゼン脱着。

ムクノキ県指定天然記念物前にて写真取り島田小学校前で、御前山の方向確認し、桂川渡り上野原駅で解散。
反省会もしっかり楽しい贅沢山行をありがとうございました。又、トレーニングは御前山に宜しくお願います。

（記＆写真・瀧澤　きよの）
（写真提供・小名秀鋭/峯川弘子）